

独立行政法人農林漁業信用基金

農業信用保険業務運営委員会事務局 御中

熊本県農業信用基金協会

岡山 幸市

下記のとおり、質問いたしますのでよろしくお願いします。

【段階保険料率について】

今年 4 月から A C R I S を利用した段階保険料率が 3 資金について導入されたばかりですが、その 2 か月後に保証審査システム開発が決定され、農業資金用のリスク計量化システムも装備するとのこと。懸案であった、基金協会から信用基金への被保証者の決算データの送付は大幅に改善されそうです。

ただ、農業資金用のリスク計量化が A C R I S 以外となれば、利用中の A C R I S はどうなるのでしょうか。

まず、この度は私事により当運営委員会に参加できないことを、心からお詫び申し上げます。弊社では台風 9 号、10 号の被害を受け特に 10 号の風の影響で弊社ビニールハウスの 70%がビニールを失うこととなりました。職員一同が全力で復旧に努めております。その折、当山陽小野田市ではコロナの集団感染が発生し、その地域が閑散となったのを目の当たりにしています。万が一のリスクを回避せねばならない状況です。当社の規定では、県外に移動した場合、1 週間の自宅待機を命じております。私も例外ではありません。テレビ会議の導入も一策ではないかと思えます。ご理解の程宜しくお願いします。

米の収穫も一段落を迎えようとしています。今年度はウンカが大量発生し経験したことの無い被害が周りでは見受けられます。また、九州の 7 月の豪雨災害、9 月の台風被害、大変なご苦勞をされているようです。保険、融資等早急な対応を、お願い申し上げます。

コロナ渦の中、消費 物流めまぐるしく変化しているのを感じています。既存の農業経営では立ち行かなくなるのは明らかです。金利も下がり、融資も受けやすくなってまいりました。コロナウィルスによる経済の悪化、消費 物流の変化に対応しうる農家を見極め、積極的に支援していただける体制づくりをして頂きたいと思っております。

コロナウィルスの速やかなる収束、皆様のますますの御健勝 御活躍を祈念しております。

有限会社 グリーンハウス
代表取締役 松村正勝